

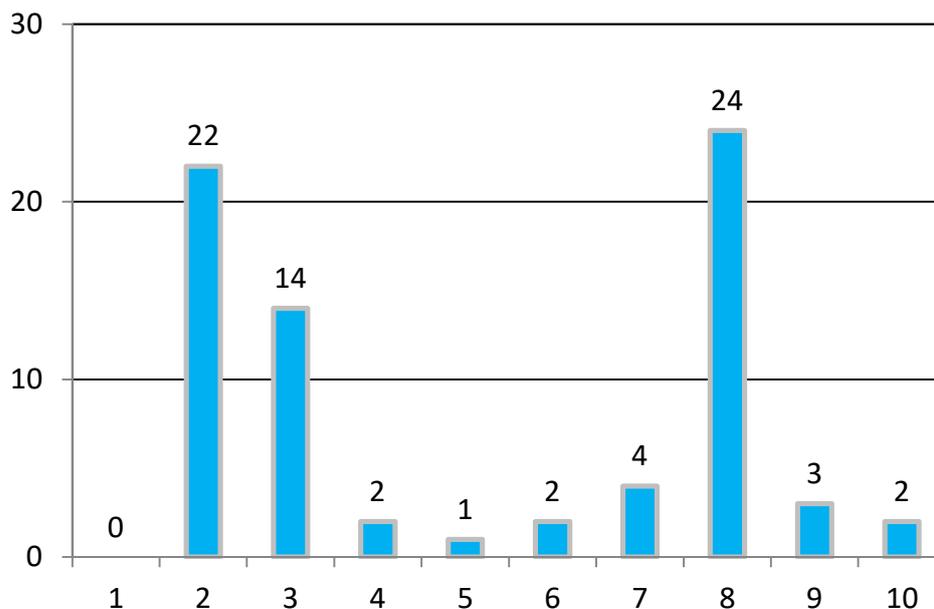
H29年度 Advanced COSA (2) 記述式アンケート/グラフ

[1] 回答者数

MC1	61
MC2	4
DC1	2
DC2	4
DC3	3
DC4以上	0
PD	0
その他/教員など	0
未回答	0
計	74

[2] あなたの所属を教えてください。

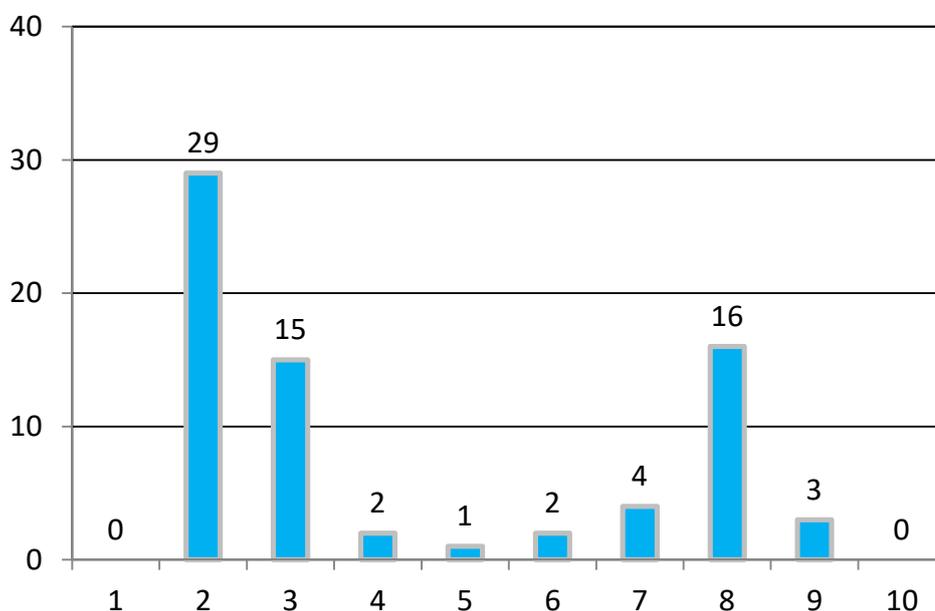
- 1.理学院/理学研究院 2.生命科学院/先端生命科学研究院 3.農学院/農学研究院 4.工学院/工学研究院
5.環境科学院/地球環境科学研究院 6.情報科学研究科 7.総合化学院 8.水産科学院/水産科学研究院
9.医学/歯学/獣医学/薬学/保健科学 10.その他



H29年度 Advanced COSA (2) クリッカーアンケート/グラフ

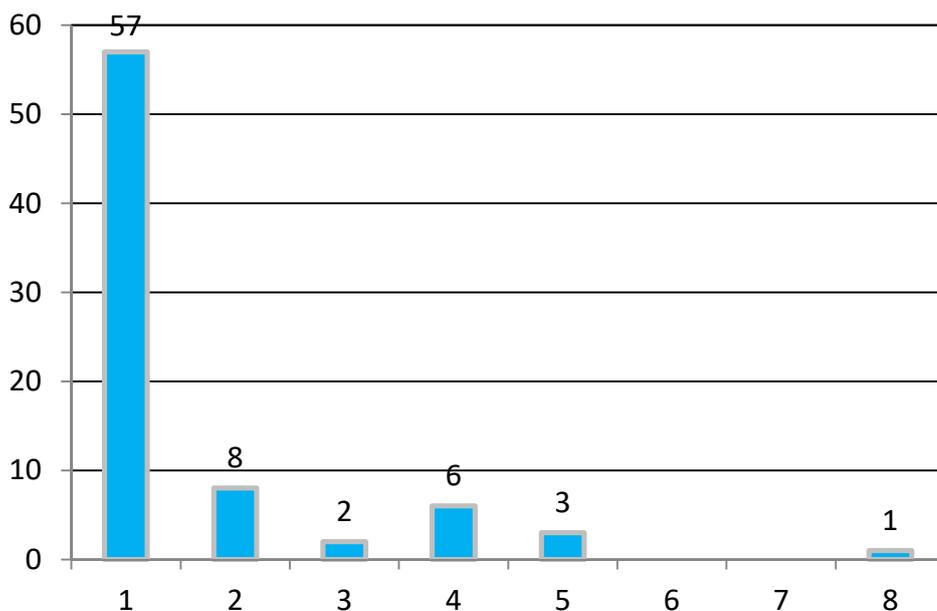
[1] あなたの所属を教えてください。

- 1.理学院/理学研究院 2.生命科学院/先端生命科学研究院 3.農学院/農学研究院 4.工学院/工学研究院
5.環境科学院/地球環境科学研究院 6.情報科学研究科 7.総合化学院 8.水産科学院/水産科学研究院
9.医学/歯学/獣医学/薬学/保健科学 10.その他



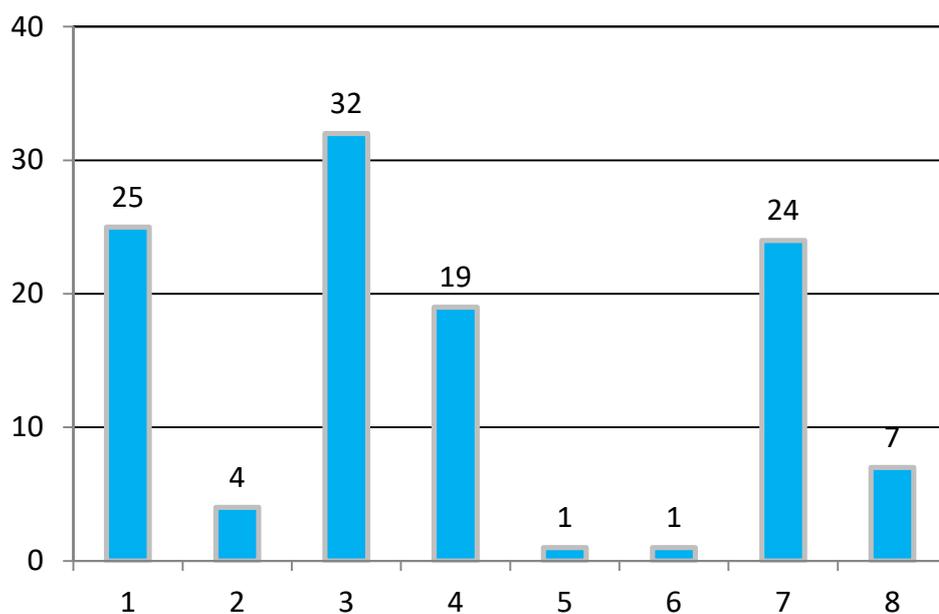
[2] あなたの学年・属性を教えてください。

- 1.MC1 2.MC2 3.DC1 4.DC2 5.DC3 6.DC4以上 7.PD 8.その他/教員など



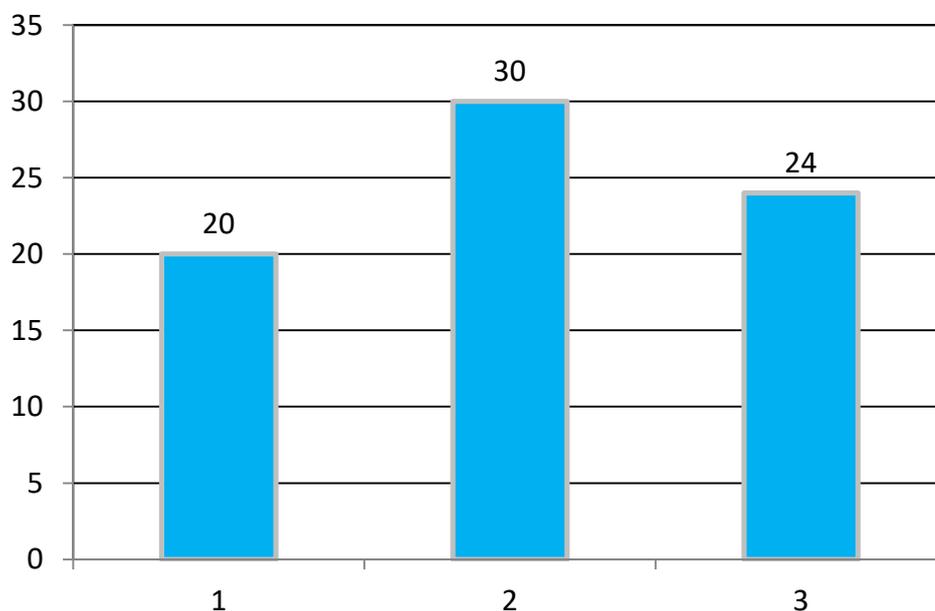
[3] あなたの出身学部を教えてください

1.理学部 2.工学部 3.農学部 4.薬学部 5.獣医学部 6.医・歯学部 7.水産学部 8.その他



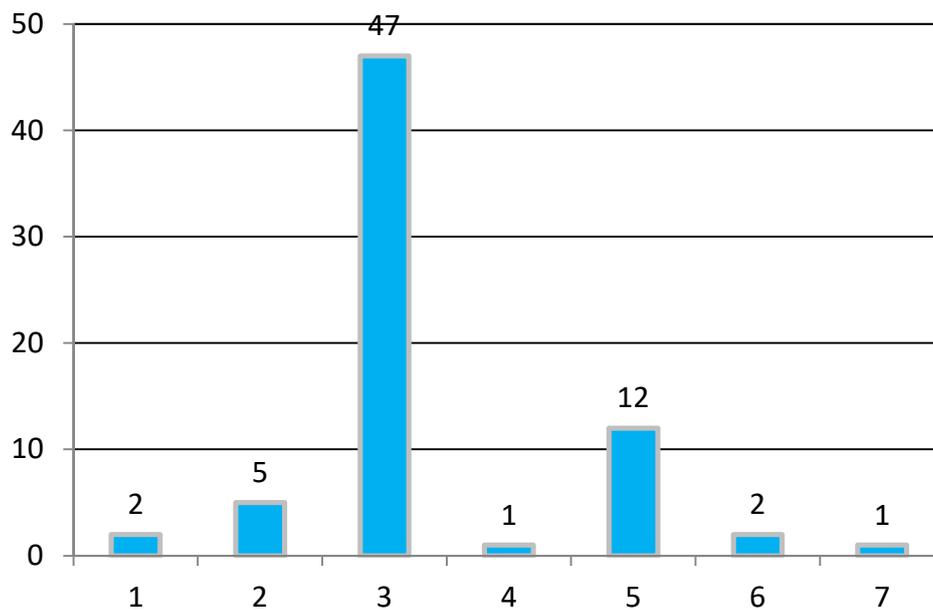
[4] 人材育成本部主催のセミナー等受講は初めてですか？

1.初めて 2.2回目 3.3回以上



[5] どのような分野への就職を希望しますか？

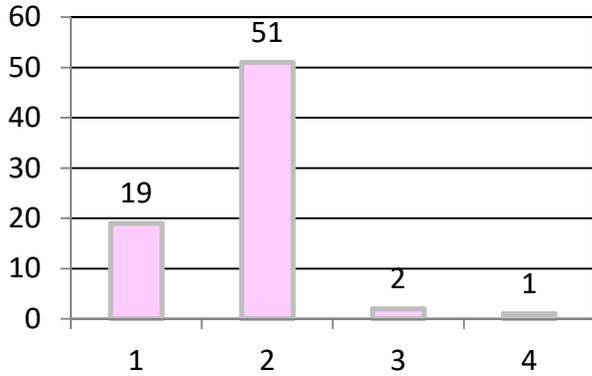
- 1.大学教員 2.国立研究所/試験所 3.企業研究開発部門 4.中学・高校教員 5.その他
6.今は考えていない 7.企業



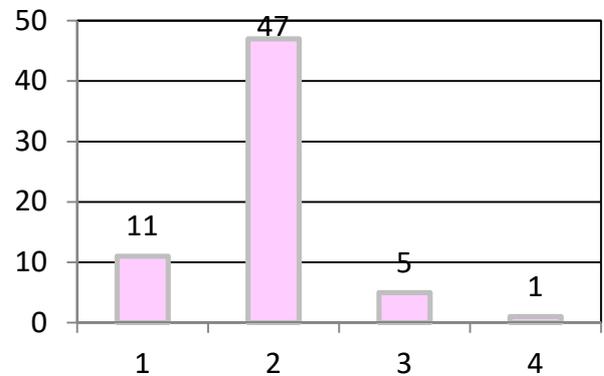
[6]どのような分野の企業に就職したいですか？

- 1.専門にマッチした企業 2.どこでも特に拘らない 3.専門とは異分野の企業 4.企業就職は考えていない

<受講前>



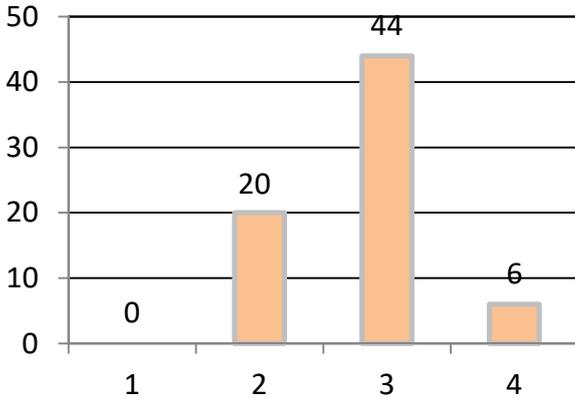
<受講後>



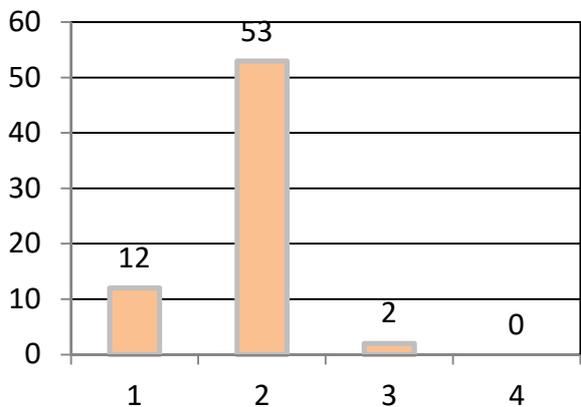
[7]企業の研究開発についてあなたはどの程度理解していますか？

- 1.具体的によく理解している 2.ある程度理解している 3.あまりよく理解していない 4.全く理解していない

<受講前>

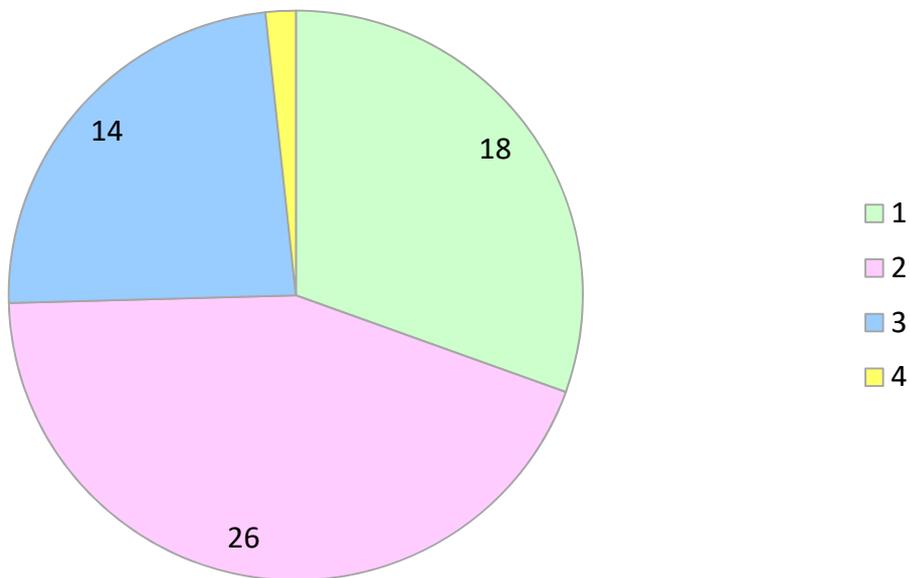


<受講後>



[8] 企業での研究開発業務についてある程度以上理解したあなたはそこに魅力を感じましたか？

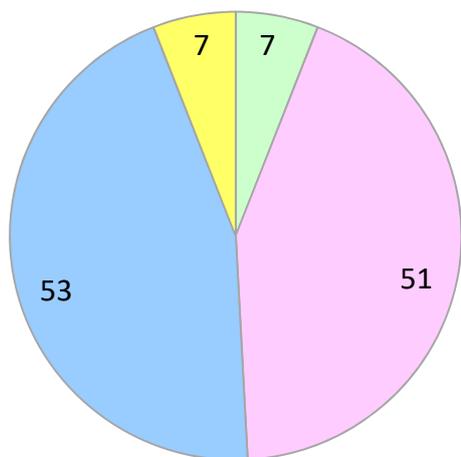
- 1.大変興味深くおもしろい
- 2.ある程度は興味を感じた
- 3.あまり興味がわかなかった
- 4.全く興味がわかなかった



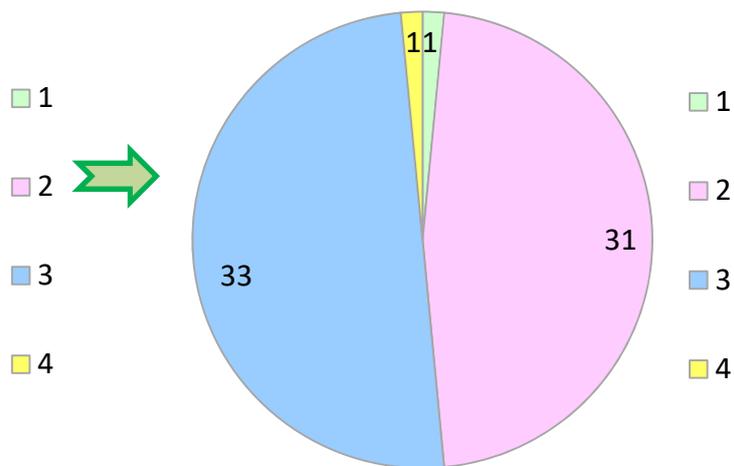
[9] 科学技術系のあなたが企業に就職した場合、どのような業務を担当したいですか？

- 1.あくまで自分の専門分野
- 2.科学技術分野なら何でも
- 3.事業やスタッフでもOK
- 4.科学技術系以外の業務を

<受講前>

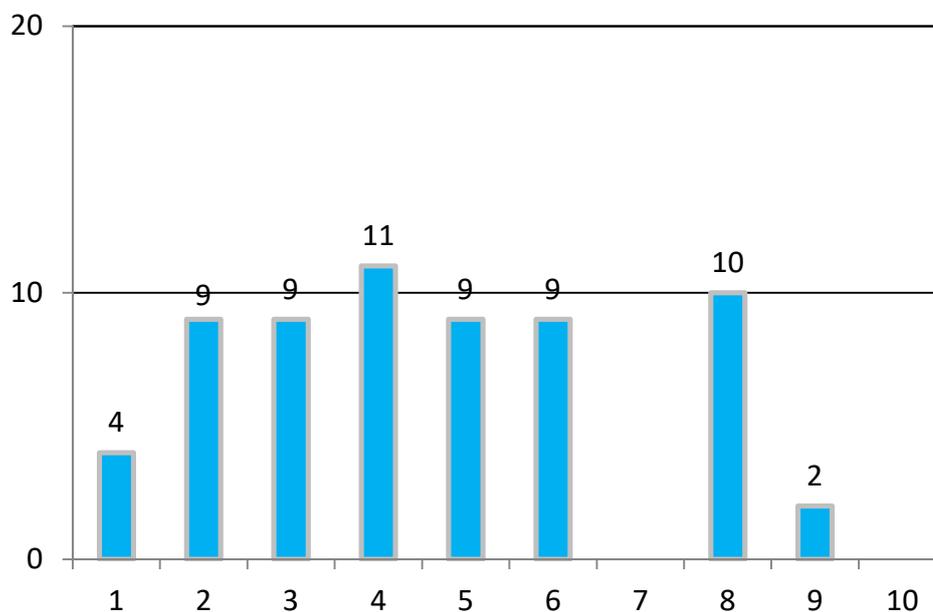


<受講後>



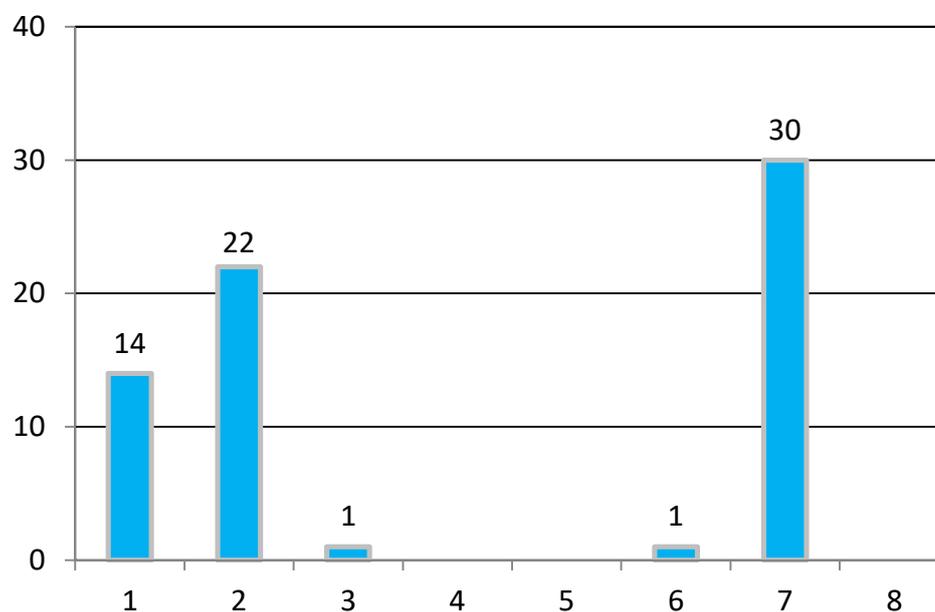
[10] A-COSA開催はどのようにして知りましたか？

- 1.教員からの情報 2.友人/知人情報 3.S-cubicのホームページ 4.S-cubicからのメール
5.掲示板ポスター/ちらし 6.シラバス 7.食堂の三角/蒲鉾POP 8.大学院入学式ガイダンス
9.他の講義での紹介 10.その他



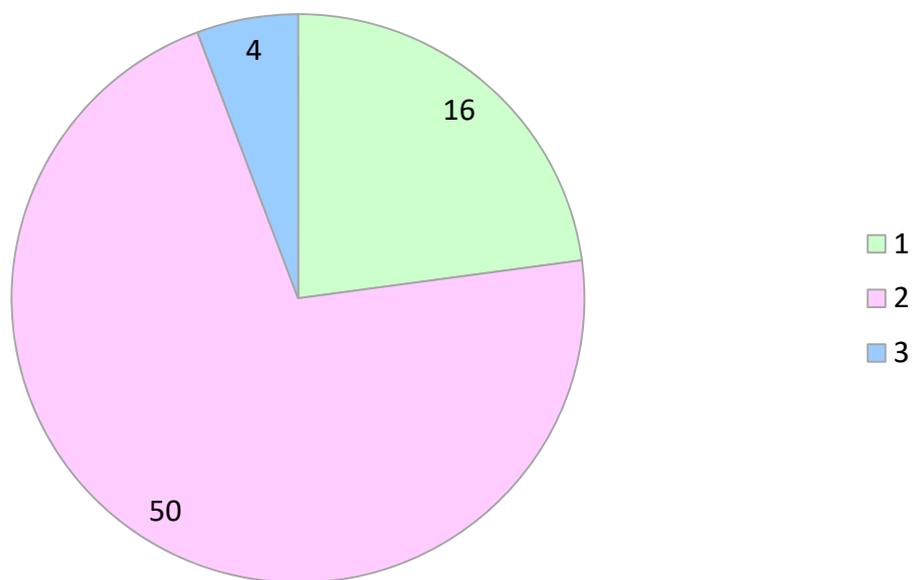
[11] A-COSAに参加の理由は？

- 1.興味ある企業が参加していた 2.企業の研究開発を知りたい 3.企業の人事制度や勤務実態を知りたい
4.講師の先生と意見交換したい 5.教員の勧め 6.友人/知人の勧め 7.単位が欲しい 8.その他



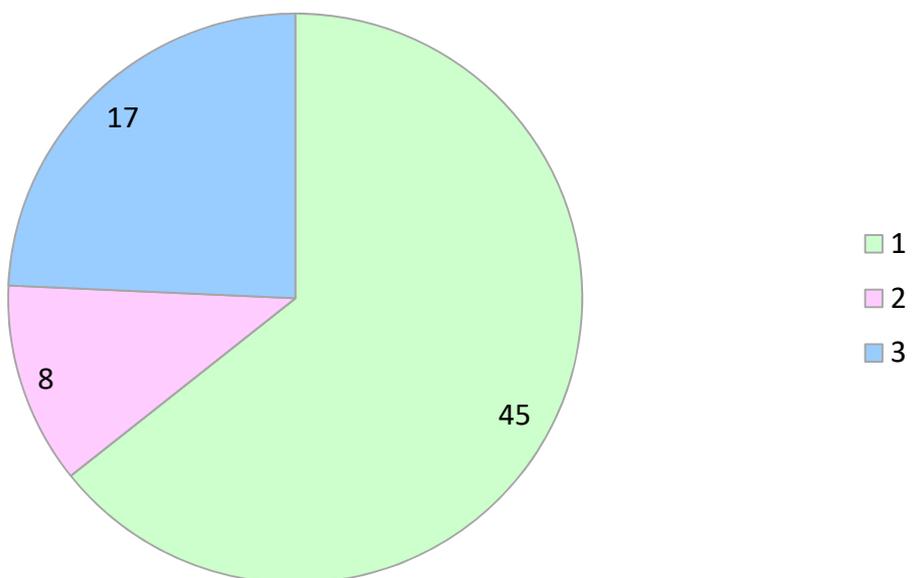
[12]A-COSAにまた参加したい？

1.是非参加したいと思う 2.テーマ次第で参加する 3.もう参加しないと思う



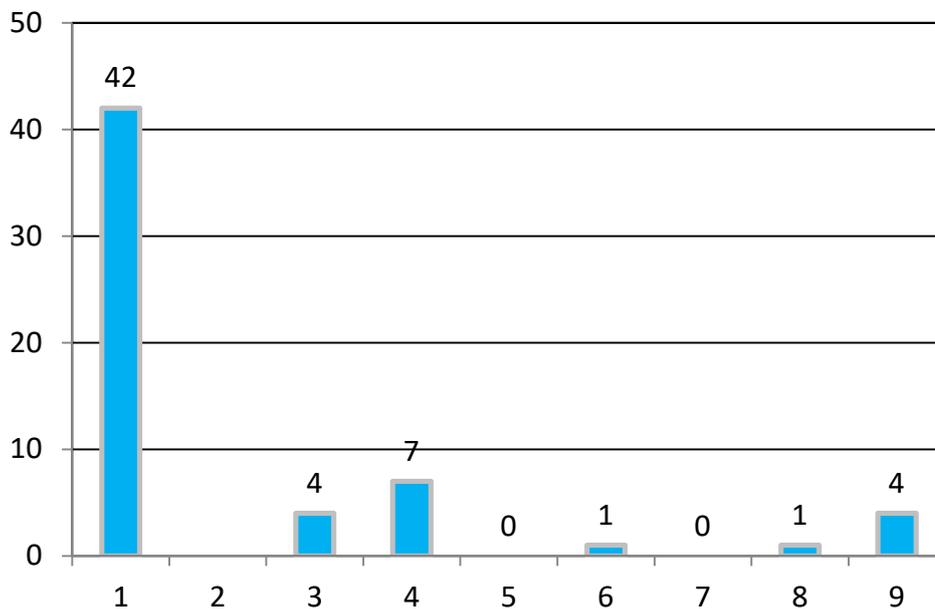
[13] このようなセミナーの開催希望日時は？

1.平日に開催が良い 2.土日の週末が良い 3.都合つけばいつでも



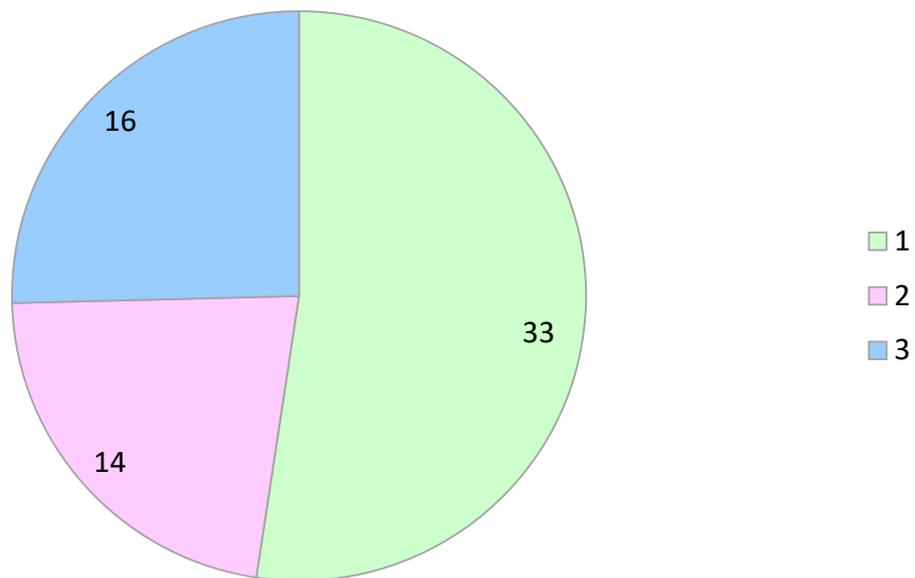
[14] あなたの研究の科学技術分野を教えてください

- 1.ライフサイエンス 2.情報通信 3.環境 4.ナノ・材料 5.エネルギー 6.製造技術 7.社会基盤
8.フロンティア 9.その他



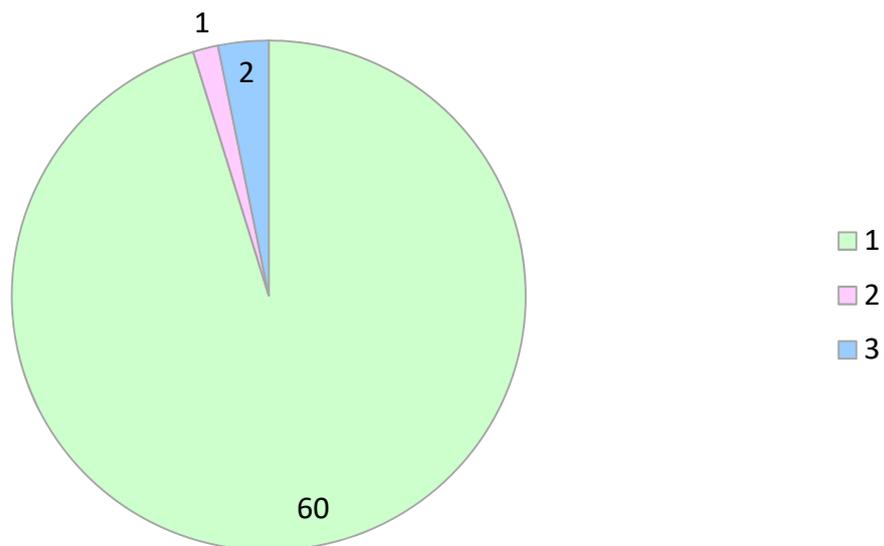
[15]あなたは研究の専門分野以外に社会で活躍できる(自己アピールができる)能力はあると思いますか？

1.はい 2.いいえ 3.わからない



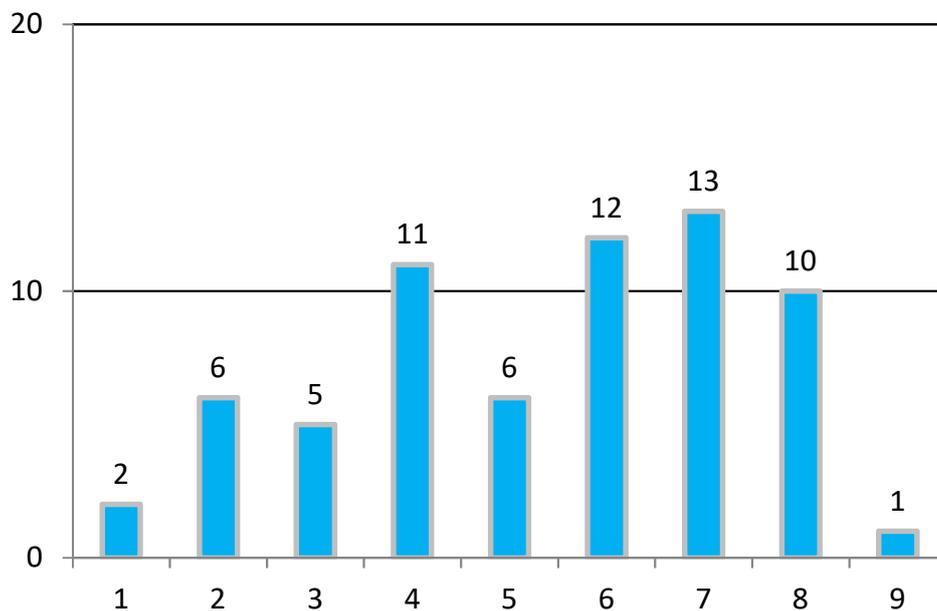
[16]あなたは今後、社会で活躍できる能力を伸ばしたいと思いますか？

1.はい 2.いいえ 3.わからない



[17]研究以外の業界／業務では、どのような分野の講師のお話を聞きたいですか？

- 1.知的財産 2.マスコミ 3.商社関係 4.公的機関 5.医療関係 6.環境関係 7.コンサル 8.ベンチャー
9.その他



H29年度 Advanced COSA (2) 記述式アンケート/自由記入欄

No.	記述内容
[2]講演内容について参考になった点や、印象に残った事などをご記入ください。	
1	専門的な知識だけでなく、幅広い分野の知見を吸収することが重要であるとわかった。好奇心を持って行動することを心がけたい。
2	商品化のために徹底的に研究していく様子。
3	研究者として第一線で活躍するためには自分の専門分野のみならず様々な分野の知識を吸収していく必要があるということが非常に印象に残った。
4	飲料メーカーではBtoB企業の開発した機能性材料を使ったトクホ商品を作っていると思っていたが、サントリーが自ら材料の開発を手掛けていると聞いて驚きだった。
5	講演者の方々が仕事の上で大切にされているモットーをそれぞれ教えていただくことが出来印象的でした。
6	全てのご講演がとても身になったと思う。各々の企業の考え方やどのような生き方をしているのかがとても参考になった。
7	年代が近い関根さんの講演でどのような学生生活を送り、自身の考えを構築していたのかという話が面白かった。
8	博士課程を経て研究をしている方はすごい人ばかりで優秀だった。
9	サントリー柴田氏の講演（自分の研究内容とリンクする部分もあったため）学生時代の日々の過ごし方のヒントを得た。
10	現在の自分の研究により向かい合い、情報収集能力を身に付けることが、今後他分野の企業に進む際にとてよになるというお話をいただき、自分のモチベーションにつなげたいと思いました。
11	特にシスメックスの方がそんなことまで教えていいたということをお話ししてくれた。
12	自分の専門だけでなく、様々な事に興味を持つことが大事なんだということを通して感じました。また、自分の専門を大切に、それを専門外の人にも伝えるように理解することの大切さも感じました。
13	どの企業の方も、「好奇心」「興味の幅」ということを強調されていたこと。企業間での協力が思っていた以上に盛んだったこと。
14	企業の研究の在り方、発展するために持つ姿勢などがどのようなものか理解できました。
15	薬学分野において国内の企業同士でのオープンイノベーションが進んでいて第一三共とアステラスでは化合物のライブラリーも共有しているという点で一番印象に残った。
16	論理的思考、自分で研究を進めていき、自分の研究以外にも目を向けることの大切さを学びました。
17	海外に行ってディスカッションするときにPh. Dを持っていないと話し合いに参加も難しくなること。
18	自分の研究を見つめ、そして他分野へ興味を持つというおこというのが各講師共通でおっしゃっておられたのが大変印象に残りました。
19	企業の研究というと利益重視でありおもしろいことをやっているイメージがなかったが、実際のお話を聞いて、企業の研究者も信念や興味を持ってエキサイティングな研究もしているのだなと意外に思った。
20	サントリーの企業理念。
21	関根さんのライオンでの研究生活に関する話は、研究分野に携わる人のキャリアというのが具体的に理解できました。

22	講師の方々の情熱。それぞれに信念があり、来春から働く身として刺激になった。
23	関根さんの講演が最も印象に残った。大学生のときの過ごし方や研究に向かう姿勢など、身近に感じる部分もあった。
24	演者の先生と双方向で議論できたことがなにより良かったです。どんな質問でも丁寧にお答えいただき感動しました。今後の進路を考える上で重要な参考になりました。（どんな人材が必要とされているのか、どんな研究ができるのか、海外に行けるかなど）
25	実際の研究の最前線はほとんど博士であることを知った。
26	企業で研究することについてイメージがついた。皆さん多くの人と関わりながら好奇心を持って取り組んでいるのが印象に残った。改めてコミュニケーションの重要性を思い知りました。
27	企業研究員に求められる素養がよくわかりました。
28	シスメックスの吉田氏の企業での働き方を学ぶ中で、自分が企業に合うように自分をつくっていくという姿勢はもちろん、自分が企業をつくっていくといった姿勢が見えた。今後就職活動を進める中で参考にしていきたい。
29	企業のビジョンやそれを裏付ける技術、文化、歴史をそれぞれの企業が持っていることがよく理解できた。
30	関根さんの話を聞き、博士課程の学生の就活など、ざっくりではあるが知ることができました。
31	企業が当初思っていたことと異なり、同業の他社との垣根が低く、互いに協力し合える部分では力を出し合っていること。
32	吉田さんの6歳の病気の子供と会った「志」の話がすごく印象に残った。私は病気の人に直接会った経験がなく、「夢」はあっても「志」はまだないのかなと思った。
33	BtoCの事業では市場の動向に技術研究が左右されるということ。
34	自分の分野外の話が聞けて、就活の視野が広がった。
35	医療、診断薬、食品、化学という分野それぞれのお話を聞いて、各企業での研究職に対する考え方が違うことが印象的でした。薬を扱う業界ではやはりアカデミック寄りの考え方であり、Ph.Dの割合が多いのに対し、食品・化学ではMC卒の割合が高いことがかなりはっきりと示されて、自分のキャリアパスを考える上で役に立ちました。実際に先生方の研究内容をお聞きできたことで、今の自分でも目指すことができる範囲がどこまでなのか理解できました。
36	シスメックスの吉田さんの義務と権利の話は印象に残りました。
37	企業内での研究の実態がよくわかってイメージが沸いた。
38	関根さんのお話しが興味深かったです。（身近な先生として就職活動の進め方や、企業での研究生生活を聞いたのが有意義でした）
39	シスメックスの企業理念とシェアの広さ。唯一知らない企業だったので。
40	海外留学のお話で、海外では攻撃的に意見を言わないことで良いディスカッションができるという話が参考になりました。
41	第一三共。オープンイノベーション、共同開発、他企業との連携がシステムとして完成していると感じ印象に残った。
42	シスメックスの吉田さんの行動力や過去のエピソードがとても面白かったです。
43	企業での商品開発に対する責任や意識の持ち方やその重要さがこれからのイメージにつながりました。

44	企業研究するのは初めてだったが、どのようなものか感じがつめた。
45	企業で実際にどのような研究がおこなわれているかイメージしやすくなった。企業が博士に対してどのようなことを考え、求めているか話を聞くことが出来た。
46	実際に研究者として働く姿と言うものが想像できた。
47	企業を引っ張る方々の仕事のとらえ方は非常に新鮮でした。特に吉田先生の「研究は製品になることで世界を変える」という考え方には大変感銘を受けました。
48	懇親会で企業の方とお話して、企業のビジネスの本質やものの考え方、立ち位置を理解することが出来た。
49	どのような業界でもロジカルな思考や挑戦する力が重要だと感じた。今回はバイオ関係が多くて個人的に興味深かった。
50	皆さん研究を楽しそうに行っている印象を受けました。
51	前回より製薬寄りだったのが印象的だった（良い意味で）。
52	研究とにかく頑張ります。
53	企業での研究活動がどういったものなのかイメージが沸いた。
54	企業に就職した人が、学生時代どういったことを考え、何をしていたのか知れて良かった。
55	共同研究の多さやオープンイノベーションの活発さから自分の中にあった企業の競争の仕方のイメージがより効率的で柔軟なものであるというイメージに変わりました。サントリーの方の講演を聞いて、社内の技術で出来る事や、世間のトレンドであっても社には合わない場合は撤退する必要があるということで企業を選ぶ際に企業理念の大切さを改めて感じました。
56	自分の軸を持って行動することが大切だと思った。
57	コミュニケーションの重要性。幅広い知識を身に付ける大切さ。
58	各企業がそれぞれ強みを活かせるように戦略を練っているということが印象に残りました。また製薬業界などはオープンイノベーションの考え方が主流になってきていることを初めて知りました。
59	企業の説明を聞き、それぞれ特色が違って面白かった。
60	関根さんの学生時代の話。
61	参考になったことは、どの講師陣も研究能力は持っていて当たり前という文脈がある中、その中でもやり切る情熱、志というような姿勢こそが大切だということです。
62	関根さん、研究分野が近かったので参考になりました。
63	オープンイノベーションが進んでいる等、今の企業の実態を知ることができた。
64	製薬業界ではオープンイノベーションが一般的になっていること。
65	シスメックスの吉田さんお経歴や会社を映る際のエピソード、ライオンの関根さんのアメリカと日本の違いについての話、第一三共大槻さんの深堀テーマの決定に関する話、サントリー柴田さんの研究に対する姿勢の話。
66	質疑応答が活発だった。

67	専門的なことについては分野が違うので、よく理解できなかったが、研究者としての姿勢やスキルなどについていくつかの会社の話を聞いてよかった。製品開発のフローについて知れたのは自分にとって良い事だった。
68	やはり年齢の近い関根さんの博士時代の経験談が一番印象深かったです。

[3] 今後、Advanced COSA (2) で講演してほしい講師の分野(企業/業種) を教えてください。

1	水産系の企業、コンサル系。
2	環境
3	菓子・たばこなど嗜好品を扱う企業の研究職の方。
4	理系でありながら文系分野でご活躍されている方の話も聞いてみたい。
5	修士・博士課程を修了して、研究職以外の仕事をされている方のお話しが聞きたいです。
6	食品（理由はあまり研究院でもPh.Dを持っている人の割合が多くないと聞いたから）
7	金融関係
8	化粧品業界（資生堂・コーセー）
9	途上国に関わる企業（お話し）を聞いてみたい。
10	冷凍食品会社の技術開発。
11	食品業界（自分が進みたいと考えているため）
12	大手水産商社における研究開発の実態について。
13	物理系（コンピュータ等）の科学技術計に所属していた方々の講演を聞いてみたい。
14	飲料系の会社についてもっと詳しく知りたくなりました。
15	素材系、メーカー系。プラント建設や生産に関わる方。
16	テレビ業界および広告業界。
17	実験器具や試薬メーカー。食品メーカー。
18	コンサル、環境系。
19	総合商社。
20	食品系、水産関係、コンサル。
21	大企業でなく中小企業や起業した人。ドクターまで行って大企業に入って仕事もバリバリこなしているすばらしい人ばかりじゃなくて、もっと普通の人の話が聞きたい。ドクターへ行って大企業に入るのが正義だと言っているように聞こえてしまう。
22	飼料メーカー（特に水産）
23	食品に関する分野。
24	水産系または公官庁の研究者
25	今回は4人とも化学計の人だったので、物理系や生物計などそれぞれ異なった分野で研究を行っている人の話を聞きたい。
26	医学・薬学・に身を置く私としては今回の分野で満足しております。
27	明治、大塚製薬、道内の研究職がある企業。

28	化学メーカー、BtoBの企業。
29	どういう分野でも良いが、企業研究者としてだけでなく、経営や企業的意思決定に携わった人などの話が聞けると面白いと思う。
30	製薬会社、公的研究機関。
31	技術職の公務員や国立研究機関の方々。
32	製薬・医療分析機器メーカー。
33	otc中心の企業（小林製薬、大塚製薬）試薬メーカー（アドバンテック、WAKO等）ベンチャー企業（バイオ）文系職に就いたMC卒の人の話を聞きたいです。
34	楽天
35	試薬メーカーの研究開発職。
36	製薬系
37	食品業界の研究・開発以外の分野
38	製薬関連、食品関連の分野のお話しが聞きたいです。
39	半導体、電気、車、たばこ。
40	素材メーカー。
41	大正製薬、ベンチャー企業。むしろあまり知られていない企業だけど面白いことをやっている企業。
42	半導体、人工知能。
43	育種分野。
44	コンサルタント。
45	外資（P&G、ユニリーバ）
46	コンサル系の理系ニーズについて聞きたい。
47	製薬の臨床開発職。
48	育種。
49	食品
50	化粧品、トイレットリー業界。
51	メーカー以外の分野の研究職の話も聞きたいです。
52	興味があり専門に近い食品関連の企業の講演があると嬉しいです。また、北海道に本社がなく説明会等で話を聞く機会が少ない企業や普段は専門に使い分野ばかり見てしまうので業種間の比較ができるような全く異なる分野も同時に聞けるととても参考になります。
53	玩具メーカー、JT。
54	有機化学系。
55	食品、育苗。
56	環境分野。
57	コンサル
58	ベンチャー企業

59	コンサル
60	佐藤水産、ニチレイ、公務員、道総研
61	環境やエネルギー関係
62	製薬、食品、化粧品
63	コンサルタント
64	半導体、電機メーカー、IT、村田製作所、ソニー、パナソニック、京セラ
65	農業系、ベンチャー企業、教育系

[4]Advanced COSA (2)についてのご感想・ご要望などをご記入ください。

1	自分は修士2年で来年から企業に就職して働くことが決まっているが、今回同業界の会社の方の講演を聞くことができ、より業界への理解が深まった。
2	質問に対して4人の講演者全員がそれぞれ答えていただく形式でも良いと思う。
3	前半の企業の研究内容の紹介よりも講演者の方の積んできたキャリアやその過程で考えたことキャリア選択においてどう考えたか等のお話しをもっとたくさん伺いたいと思いました。→ その背景を知ることこの講義の主題です。
4	とても有意義な2日間でした。
5	函館だとどうしても通信になってしまうと思うが、聞き取りづらいところがたまにあった。→ これは永遠の課題ですね・・・。
6	講演しているときの音声聞き取りにくかったです。
7	深いお話しが聞けて良かったです。
8	特になし。
9	2日間研究職に就く(就いていた)方々のお話しを聞けて、貴重な体験となりました。自分自身は博士課程の進学は考えていなかったの自分から遠く感じる話題もありましたが、現在の自分の研究と向き合う大切さをより知ることができました。クリッカーがスマートフォンで入力する形でしたがサインインできませんでした。
10	質疑応答の時札幌キャンパスの音が聞きとりづらかった。恐らく札幌キャンパス内では問題なく音声は通っていると思いますが。
11	1日の時間が長いので同じ内容を3日間くらいで開催して欲しい。 シラバス上の制限や、講師の皆さんの予定、懇親会での集合を考慮するとこのようなプログラムになります。
12	今回お話しして下さった企業のやっていることが4つともより近いものであったため、話を理解しやすかったように思えた。函館で札幌の映像を見ていると早口でしゃべられたところが聞き取りづらい場面が多いように感じました。→ ビデオ撮影していますから、あとでオンデマンドで聞き返したいところを聴取することは可能です。
13	参加理由は「単位が欲しい」でしたが本当に充実したためになる講座でした。今ではより多くの方からもっと長い時間お話しを聞きたいと思っています。この機会を設けてくださり本当に感謝しています。
14	企業の研究発表や論文発表の詳細をお聞きしたかったです。
15	講演されていた方のキャリアについてや企業としての研究の進め方だけでなく、最近の研究内容についても詳しく聞けて非常に興味深かった。
16	研究職になるためにはPh. Dが必要なんだとおもった。

17	おもしろい話が聞けてとても良かった。
18	このような企業の話をしつくり聞く機会はなかったので良かったです。生命分野が多く、専門外の話が出てきたのは、自分の勉強不足だなと思いました。横文字も含めて。
19	質問時間が長い。→他の感想をご覧いただいておりますように、質疑にしっかりと時間を配分することは全体として肯定的な評価です。また、双方向論議の授業を文科省も推進しています。
20	参加してよかったと思う。企業の取り組みに関して知れて良かった。前回みたいにもっと企業が求める、今後求められる人材についての話が欲しかった。→講師にもそれぞれ個性があるので統一的な構成は難しいですが今後の課題とします。
21	もっと幅広い年齢層の話を知りたい。→結構幅広いと思いますが、もっと若手を増やせということですか？
22	A-COSA(1)に比べてA-COSA(2)は化学系の人ばかりで少し残念だった。様々な企業における様々な企業研究について知るために受講したので、多岐に渡る企業研究を紹介してもらえるととても良い機会になると思う。→たくさんの企業にお声がけしていますが、時期やその他の制約で、全方向多分野の講師を揃えることは毎回は不可能です。これだけの講師を集める苦勞も察し頂けるとありがたいです。
23	2日目9時から早い。今後の研究、就活のモチベーションになった！
24	就職活動をするにあたってすごく参考になりました。
25	とても参考になるため、開催回数をもう1度ほど増やしてほしい。これだけの講師を時期を限って集めるのは大変なんです。
26	ぜひ続けてください。
27	前半部の企業紹介の時間が少々長いように感じた。
28	企業の研究について少し具体的にイメージできるようになり、よい機会だったと思う。
29	会社の研究を聞いて、その人の経歴も聞いて、2部構成はすごく良かったと思う。
30	同じ健康にかかわる事業でアプローチが異なっていておもしろかったです。
31	企業で研究職についておられる方から実際の企業での仕事や考え方を聞くことが出来て有意義だったし就職を考えるにあたって参考になった。
32	バイオ系の方々が多く、大変参考になりました。
33	非常に参考になります。ありがとうございました。
34	年齢の近い先輩の経験を聞くことが出来て、とても参考になりました。→もっと増やしたほうがいいですか？
35	企業紹介の部分は分野的に遠い学生もいると思うので、もう少し時間を短くしてもいいのかなと思いました。→講師の方のモチベーションから考えるとこの部分を削るのは難しい・・・。
36	A-COSA(1)もありましたが、授業終わりの懇親会は個人的に先生方とお話しできるのでとても良い機会だと思います。
37	講師がお話ししている中でクリッカーを使ってほしいです。→クリッカーは複数会場（札幌と函館とか）になると格段に扱いが難しくなります。なんとか対応しているのですが・・・。
38	ためになったが時間が長く集中力が持たない。→これくらいの集中力はつけておいてください。社会に出るともっと長時間耐えなければならないことも起こります。
39	すべての講義について可能な限り資料を印刷して欲しいと思います。→企業の資料は配布不可のものが多いのです。あれが限界。

40	懇親会で特定の人と話し始めるとメンバーが固まってしまうので、一定時間ごとに回転した方が良いと思う。→ 今後考えますが、割り込む勇気も持ってください。
41	研究開発についてよくわかりました。
42	企業のバックグラウンドの話はためになった。しかし統合の話だとかはちょっと難しくてよくわからなかった。
43	今後の就職活動の参考になった。
44	配布出来ない資料もあると思われますが、各講演のスライドがいただけると振り返る時にありがたいと感じました。懇親会のように思いつくまま間近で質問できる機会があって良かったです。
45	ためになりました。
46	非常にためになりました。
47	企業の開発・研究職のトップの方の話を聞ける機会はあまりなかったので大変貴重でした。
48	例えば「A-COSA (2) 2018」というタイトルであれば来年も単位取得できるのかな?と思いました。→ 単位だけ考えるとそうですが、単位関係なく聴講してください。あまりキャリア講義だけでたくさんの単位を出さないようにとの配慮です。
49	もっと多くの人の話を聞きたい。
50	また受講したいと思いました。
51	今回は1回目よりも生物系の話でとても興味深かったです。自分の研究に意味はあるのか、役に立つのか悩んで落ち込んでいた時期でしたが、企業の方達の話聞き、前向きになれました。
52	OBOGIにも講演いただいて年齢も近いのですごい参考になった。様々な研究分野の第一人者の話が聞けてためになった。
53	教室が狭くて窮屈だった。1人1時間くらいの発表でもっと多くの人の話を聴きたかった。 一回に同じ日時にお呼びできる企業関係者はあれが限界、それも部長/役員クラスです。彼らのスケジュールを押さえる苦労は会社に就職するとそのうち判っていただけだと思います。
54	このようなプログラムをもっと広く宣伝して欲しい。Hi-Systemに行かないと自分の耳には入ってこなかった。このような良いプログラムはもっと広く学生に知られるべきだと思う。

[5] S-cubicへのご意見・ご要望などをご記入ください。

1	もっと早い段階でこのような素晴らしい機会に巡り合いたかったと思うので、学士課程の授業でもこのような授業があれば多くの学生が自身の進路を早い段階から考える良い機会になると思う。→ 資金の制限などで学部生に施策を実施できない部分もあるので、今後の課題です。
2	無理であることは樋口先生から聞いたが、マスターにも旅費が出るシステムになってほしい。→ 資金が無限にあるわけではないので、難しいですね・・・。
3	函館でのイベントを増やしていただければ嬉しいです。→ そうですね、少しずつ増やしていきたいです。
4	参加した学生の希望であったのかもわかりませんが、もう少し工学特に私自身が興味のある素材系のメーカーのお話聞きたいと思いました。→ 今回はたまたまバイオ系に傾斜していましたが、講師の都合などから毎年によって少しずつ特徴が出ます。単位に関係なく、面白そうな企業を聞きに来てください。
5	研究内容が非常に興味深かったため、懇親会などでよりお話を聞いてみたいと感じた。函館でもこういった機会があればより良いと思う。
6	利用するほど良いシステムだと思います。今後ともよろしくお願いします。
7	アンケートでは少数でしたが、研究室の都合があるので日曜に開催していただけると助かります。→ その意見は少しあります。ただ、働き方改革が進む企業側が最近特に嫌がります。また運営するこちらのスタッフも非常勤職員なので、労務管理上も多くの課題が出てくるので難しいです。

8	確認メールが届かなかった際にも丁寧に対応していただきありがとうございました。
9	メールで良い情報を与えていただき助かっています。
10	講義の録画ビデオを見たい。→お申込みいただくと閲覧できると思います。
11	就活の情報を配信して欲しいです。→具体的には何でしょう？